

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	<p>大脳メタ記憶神経回路の解明：光遺伝学による内省の因果的制御</p>
研究代表者	<p>宮下 保司 (順天堂大学・医学研究科・特任教授) ※平成29年6月末現在</p>
研究期間	<p>平成29年度～平成33年度</p>
コメント	<p>本研究は、当該研究分野において世界を牽引してきた応募者が、「狭義の記憶システム」に関する研究から記憶の内省、すなわち「メタ記憶システム」に関する研究へと研究の scope を発展させた、独創的かつ挑戦的な研究計画である。これまでの極めて優れた実績と、申し分のない準備状況から、目標達成の可能性は極めて高い。最先端技術である光遺伝学を利用したメタ記憶の操作という重要な目標に向かって、今後の研究進展と優れた研究成果が大いに期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>